

第3回 定例会 9/16~18

定例会のあらまし

第3回定例会は、9月16日から18日までの3日間開かれました。

町から、補正予算等が提案され、令和元年度各種会計等決算認定を継続審査とし、その他は原案可決しました。

議員提出の決議1件、意見書2件を可決し、一般質問では5人の議員が町長に考えを問いただしました。

旧上名寄生活改善センターを外国人農業実習生宿舎改修に補助 議会の提言をうけ高齢者応援事業、新生児臨時給付金を上程 下川町総合戦略調査特別委員会を設置

◆旧上名寄生活改善センターを外国人農業実習生宿舎に改修

外国人技能実習生の安定的受け入れ、新型コロナウイルス又感染拡大防止、町民の不安解消を目的として老朽化した外部の補修と内部を仕切り個室を追加、シャワー室、洗面台の追加等を行うものです。

町がJA北はるかに譲渡し、JA北はるかは農家で構成される外国人技能実習生受入協議会に賃貸するものです。

◆75歳以上の高齢者に商品券を配布

住民生活支援として75歳以上の高齢者に一人2,500円分の商品券を配布する、高齢者応援事業に係る経費が計上されました。

◆特別定額給付金対象外となる世帯に対し新生児一人当たり10万円を給付

国の特別定額給付金の対象外となる4月28日以降から翌年3月31日の間にお子さんが生まれた世帯に対し一人あたり10万円を給付する新生児臨時特別定額給付金事業に係る経費が計上さ

れました。高齢者応援事業とこの事業は議会の提言が反映されたものです。

これらの事業を含む一般会計補正予算(第6号)のほか、各種会計等決算認定を除く全ての議案を賛成多数により原案可決しました。

◆下川町総合戦略調査特別委員会の設置を提案

大西議員が動議を提出し、「第2期下川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について調査するため『下川町総合戦略調査特別委員会』の設置が提案され、追加日程として議題となりました。

本町は、持続可能な地域社会実現のため、地域の特色や地域資源を生かし、住民に身近な施策を盛り込み、実施されることを期待されています。議会と町が車の両輪となって推進することが重要であり、実効性のある下川町総合戦略を実践できるよう、特別委員会の設置を提案する趣旨説明があり、原案のとおり可決しました。議長を除く議員全員が委員となり、斉藤好信委員長、菘谷春之副委員長が選出され、調査期間は令和3年3月31日までとなりました。

総務産業常任委員会意見(抜粋)

- ・スーパープレミアム商品券事業は事業者には10%の特典が付くので事業者間の商業活動が活発化、取扱業者の拡大が期待されるが、今後の商品券事業で特典が無くなった場合に、極度な事業者の偏在が再現されないか心配である。
- ・外国人農業実習生宿舎改修事業のように、町の遊休施設を、必要とする団体などに譲渡していくことは時機が適しており、本町における外国人農業実習生を迎え入れる点で将来的にも大きく評価すべきものである。



動議を提出し、提案趣旨を説明する大西議員